

資料番号	2
------	---

令和4年7月19日
課名 土木建築局道路企画課
担当者 課長 秋本
内線 3890

広島高速5号線シールドトンネル工事の進捗状況等について

1 要旨・目的

広島高速道路公社が事業を進めている広島高速5号線のシールドトンネル工事の進捗状況等について報告する。

2 現状・背景

広島高速5号線シールドトンネル工事については、平成30年9月に二葉の里側から掘削を開始し、昨年10月から牛田地区の住宅地区間を掘進しているところであり、地表面沈下の抑制などの対策を取りながら慎重に工事を進めている。

また、安全・安心に工事を進めるための地元対応により生じた費用、掘削に時間を要していることに伴う現場管理費等が必要となっており、これらの費用負担について、公社は受注者と協議を進めている。

3 概要

(1) 対象者

—

(2) 事業内容（実施内容）

ア 牛田地区におけるシールドトンネル工事の進捗状況

今月11日時点において、シールドトンネル工事の延長約1,400mのうち、二葉の里側から約790m地点（住宅地区間約350mのうち約153m地点）まで到達している。また、7月6日の掘削においてカッター片を回収したことから、住宅地区間で6回目の臨時点検を行っている。

なお、これまでの掘進における地表面沈下等は、予め設定している管理値の範囲内に収まっている。

イ シールドトンネル工事の契約変更

現契約の工期末である令和4年7月12日を超えているが、公社及び受注者ともに、これまで同様に安全・安心を第一として早期完成を目指し工事を継続していくこととしている。

また、公社と受注者は、契約変更の内容について協議を続けてきたが、7月11日に受注者から公社に対し、建設工事紛争審査会に調停申請する意思が示されたことから、今後は建設工事紛争審査会にて解決を図っていく。

(3) スケジュール

—

(4) 予算（単県）

令和4年度 広島高速道路公社出資金・貸付金 1,850百万円

(5) 今後の対応

引き続き、事業主体である公社や広島市と連携し、住民の不信や不安を可能な限り払拭できるよう、適切かつ丁寧な対応に努めながら、着実な事業推進に取り組む。